

令和4年度から継続中の改革・改善項目

1. 【業務改善】学校の当たり前を見直した働き方改革

- ア) 留守番電話の時間設定について、2学期より18時→17時半。
- イ) 休み時間の体育館開放。PTA運営委員会の同意を経て、1月間の試験実施後、本格実施。
- ウ) 保護者ボランティアによる放課後の図書室開放の実施。(→放課後オープンスクエアの居室に)
- エ) 現金取り扱いの削減 家庭科エプロンとリュックサックの代金を学年費に変更。
- オ) リュックサックの「通年使用可能」を通知。
- カ) あゆみの「渡し切り化」1学期から実施。
- キ) 保護者対象 学級文庫への寄贈本募集。100冊以上の寄贈→学級文庫へ配置
- ク) 支援学級のあゆみ所見に替え、懇談時に「個別の指導計画」を交付。
- ケ) 第四中と五常小の生指連絡会の検討。(令和5年)
- コ) 会議の改善 教職員の意見を反映する仕組みの設置。

2. 【不祥事・公務災害の未然防止】安全・安心な職場つくる改革

- ア) 児童と教職員の高所作業 原則禁止。
- イ) 現金取り扱いの削減 家庭科エプロンとリュックサックの代金を学年費に変更。
- ウ) 教職員親睦会の規約改定。

3. 【学力向上等】自律で学ぶ児童を育てる改革

- ア) 英語自学ツール Units of Sound の取り組みとインタビュー記事の掲載
<https://nisai-british-onlineschool.com/blog/news/gojo-primary-school-units/>
令和5年度から、4~6学年で本格実施を決定。
- イ) 新しい朝学習【オビタイム】の「設置 音読(暗唱)、漢字、百ます計算の反復学習
児童が見通しを立て自律して学習する仕組み(五常小検定)の創設
- ウ) 児童の「成果」と「課題」の保護者との共有の改善。あゆみ所見に替え、単元別シートを交付し、
個人懇談を時間延長して内容を充実。
- エ) ルールメイキング「わたしたちの学校安心ルール」の制定 主権者教育実施予定(令和5年)
- オ) 鉛筆シャープ使用可能の通知 鉛筆の持ち方、鉛筆削りなど筆箱管理の課題克服
- カ) 春休みの漢字学習の検討 春休みに宿題を課し基礎学力向上を狙う
- キ) 令和5年度からの支援学級の運営の改善について 支援担任、通常学級担任の意識改革

4. 【保護者ニーズ、意思疎通】保護者とともに学校運営する双方向コミュニケーションの改革

- ア) 五常小ブログ「校長への提言・意見コーナー」保護者意見は、のべ85件(6月末現在)。
毎月の学校だよりですべて回答。
- イ) 学校の役割と責任の明確化 文書の発出「学校」と「家庭」の責任と役割分担の明確化